

令和2年度 就学前人権教育研究協議会B（実技的演習） 実施要項
 一人権教育の観点から多様な課題に応え、スキルを高める一

- 1 目的 言葉・感性の育成、保護者への対応、障がい理解等の多様な課題に対して、人権教育の観点に立って、その在り方と指導スキルについて、実践的な研修を実施する。
- 2 対象者 幼稚園・府立支援学校幼稚部・保育所・認定こども園・認可外保育施設の所属長及び教員・保育士

募集人数 450名

3 研修内容等

回	日時	研修内容	講師等
1	10月12日（月） ～ 10月30日（金） Web開催	〔第1分科会〕 からだを使う遊びで、コミュニケーション能力を高めよう 〔講演・ワークショップ〕	大阪青山大学 健康科学部 教授 村田 トオル
		〔第2分科会〕 気持ちを伝えあい、つながれる場をつくろう ー隠れたカリキュラムを見抜くー 〔講演・ワークショップ〕	吹田市立岸部第一小学校 教諭 池田 佳奈子
		〔第3分科会〕 共に生きていくために知るということ 〔講演・演習〕	神戸おやこ療育サークル 副代表 寺本 夢
		〔第4分科会〕 子ども虐待の理解と対応 ー子どもの虐待防止に向けてー 〔講義・演習〕	大阪府福祉部 子ども室 家庭支援課 主査 西野 由利子

4 会場 所属校園所等

5 担当室 人権教育研究室

個別募集

令和2年度 研修のシラバス

1. 研修名	就学前人権教育研究協議会B（実技的演習） 一人権教育の観点から多様な課題に応え、スキルを高めるー （研修番号 5040）
2. 目的	言葉・感性の育成、保護者への対応、障がい理解等の多様な課題に対して、人権教育の観点に立って、その在り方と指導スキルについて、実践的な研修を実施する。

3. 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	<p>第1分科会 からだを使う遊びで、コミュニケーション能力を高めよう</p> <hr/> <p>第2分科会 気持ちを伝えあい、つながれる場をつくろうー隠れたカリキュラムを見抜くー</p> <hr/> <p>第3分科会 共に生きていくために知ること</p> <hr/> <p>第4分科会 子どもの虐待の理解と対応 ー子どもの虐待防止に向けてー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人権が尊重された就学前教育の在り方について理解する。 ・ 講演を通して、子どもを見る視点や人間関係づくりの大切さについて認識を深める。 ・ 演習等を通して、子どもや保護者への支援の在り方について展望を持つ。 	<p>からだを使った遊び（運動遊び）は、基礎的な体力や動きの発達に寄与するだけでなく、人間関係やコミュニケーション能力が育まれるなど、子どもの心身の発達に効果的であることが知られている。ジャンケンやボール等の身近な道具を使ったプログラムを通じて、実践的に学ぶ。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ すべての子どもたちが安心して自分の気持ちを表現し、互いに伝え合うことで仲間とつながっていくための実践について考える。 ・ ワークを通して、各園所にある「隠れたカリキュラム」に気づき、男女平等教育を進めていく環境を整える観点を学ぶ。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ ダウン症の乳幼児を育てる家族を取り巻く現状を改善するため立ち上げたサークル活動から見えてきた、保護者と子どもの悩みや思いを紹介する。 ・ 障がいのある就学前の子ども、家族のことを知ることで、受講者が各園所で実践できる保育・教育の在り方を考える。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども虐待を基本的に理解し、保育現場での実践につなげる。 ・ 子どもたちや保護者の具体的事例を通して、虐待の防止に向けて必要な観点について考える。 	受講者決定時に別途通知します